

十二支会・特別例会「羊蹄山」協賛ツアー

その2(6月29日～6月30日)

◇実施日：平成27年6月29日(月)～30日(火)

◇参加者：沖崎吉信、生熊敏男、生熊千満子、児嶋道夫、中前 偉

濱野兼吉、大江加予子、大江徳子、畑林清子、川島 功、

前田 正、樋口義也、高階鈴子、高階美根子、奥村順夫、

竹中卓治、田中稔昭、三井幹雄、河野芳宏、石橋哲郎、

石橋隆子、佐藤宏子、椎木 堯。 計23名。

6月29日(月) 曇一時薄日 大雪山・旭岳(2291m)登頂

定山溪温泉郷「倶楽部・錦溪」の宿泊料は、一泊二食付4,700円、ビール大瓶550円と本当に安く食事も良く、ご紹介頂いた田中稔昭氏に感謝申し上げます。

出発予定は7時だったが、朝食が7時からのため食事前に荷物を車に積込み、食事後直ぐに出発出来る様にする。朝食も本当に満足出来た。

札幌経由で帰郷される加藤氏を途中のバス停で降ろし別れる。出勤時間帯の渋滞で大谷地IC通過は8時半。途中、岩見沢SAでトイレ休憩、予定より時間遅れのため、インターを降りてからのコンビニへの立寄りを止め、SA売店で間食・飲料水など購入してもらう。

旭川北ICで降り旭岳山麓駅駐車場へ1時間遅れの11時20分に到着。此処は駐車料500円だが下の駐車場は無料、一杯なら戻って止めな！と駐車場管理者が教えてくれ親切さにビックリ。

山麓駅(標高1100m)に行くと11時30分発のロープウェイがあり、急がせてギリギリに全員乗車出来て安堵する。霧・雲海の中にあり視界は極端に悪く、姿見駅近くになると残雪の白い箇所

があちこちに目立って見える。



姿見駅売店テラス

周回コース

6合目上で休憩

姿見駅(標高1600m)で昼食。北海道の最高峰大雪山・旭岳への登頂有無を確認すると、昨日の羊蹄山登頂の疲れはあるが、奥村氏以外は登頂することになり、奥村氏は姿見の池等の周回コースめぐりをする事になった。

姿見駅売店テラスで記念撮影をしたが、天候が良ければ旭岳がバック写るのだが・・・。

雲海・山霧で視界が悪い事もあり、登頂経験のある樋口氏に先導してもらう。周回コースには残雪があり、道には雪解け水が流れ、道沿いには高山植物のエゾコザクラ、チングルマ、ベンケイソウ、ツガザクラ、黄花シャクナゲの高山植物が咲いているお花畑がしばらく続く。

姿見展望台(5合目)からが、周回コースから旭岳への登山道になる。横に旭岳石室があり、山頂迄2.6kmの標柱がある。しばらく高山植物帯が続くが、大きな岩と火山砂の登山道になり、視界不良で見えないが、左側の地獄谷からの噴気孔の噴気音が聞こえ、硫黄の臭いがする。

6合目辺りから植物の生えない岩と、火山砂の尾根になり休憩、徳子ちゃん登頂断念したいと言って来たが、中前氏先導の牛歩でゆっくり登り、前と離れていても5分で追着くと励ます

7合目を過ぎた地点で、石橋の奥さんがリタイヤと岩陰で休んでおられる。この頃から暖かい日差しを背に感じ、しばらくすると雲の切れ間から金庫岩辺りまでの稜線が一瞬望めた。



7合目(1930m)

8合目からの稜線

9合目

これからの登りに不安を覚えた徳子ちゃんは再度断念したいとの事だが、青空が望める様になり、登頂絶好のチャンスと中前・徳子ちゃん・椎木・川島が一緒に歩き、先行者との離れによる不安解消を図る



9合目を越え山頂望む

山頂への尾根道

旭岳山頂

9合目の下辺りから急な岩肌尾根をジグザグに登って行く、雲海が下になり青空になり、9合目に登ると金庫岩、山頂が望まれる。

一踏ん張りで広い山頂の旭岳(二等三角点)に21名が登頂し、山頂に万歳をかけ、記念撮影と勤行をする。約1800m下は雲海に覆われているが、それ以上は青空が広がり黒岳方面までの遠望がある。昨日までの小雨の中で頑張ったご褒美だと・・眺望を堪能する。



山頂に万歳!

山頂で勤行

山頂からの遠望

ロープウェイの最終便は17時半であり、長居は出来ず15時に下山。

あれほど遅れていた徳子ちゃんの姿が見えない沖崎氏「徳子ちゃんは登山家でなく下山家だ」と!、7合目で待機していた石橋さんの奥さんも一緒に下山。



5合目上のお花畑

姿見駅に無事下山

下るにつれ雲海の中に入り、予定より早く16時半に姿見駅に無事下山、快速下山で予定遅れが略解消。

山麓駅駐車を17時過ぎに発ち、途中コンビニに立寄るつもりだったが、ひがしかぐら森林公園内にある宿泊先の東神楽温泉「花神楽」迄にはコンビニ店なし、ホテルに尋ねると車で約10分走る必要が在るとのこと。

露天風呂には、ゆっくり眺望できる椅子が置かれていた。ホテルから濡れた衣服、靴などを宅急便で自宅へ配送する人もかなりある。

夕食はバイキング夕食。夕食後、一時預かったレンタカーキーをどこに置いたか川島思い出せず、フロントに預けた梱包した配送荷物の中を確認、忘れ物キーが届いていないか尋ねたが無い。

最後の北海道の夜であり、二次会が川島達の部屋で行われたが、それどころでなく、再度の荷の確認に向っていると見つかったとのこと、ああ良かった！と安堵する。二次会の机の上に置いて在ったが、つまみ等で隠れて見えなかったそうだ。



花神楽での夕食懇談

二次会

行動タイム

「錦溪」7:30→大谷地IC8:30→岩見沢PA→旭川北IC10:15
→11:20山麓駅11:30→11:40姿見駅(昼食12:10→12:25姿見展望台12:30→9合目13:00→7合目13:25→13:508合目→9合目

14:20→14:40旭岳(2290.9m)15:00→16:30姿見駅16:45→16:55山麓駅17:05→17:40東神楽温泉「花神楽」。
(千歳山麓駅迄49.5km)

6月30日(火) 雨 中富良野散策とサッポロビール園

朝から本降りの雨、美瑛の丘等に立寄っても外へは出づらく、早くビール園に行こうとの事から予約時間変更のため、ビール園の予約受付電話番号を中前氏に検索してもらおうと予約受付は11時半、新日本旅行へ電話確認すると予約時間指定していいとの事。早く行っても開園前になるので何処へ立寄ったら良いかフロントに聞きに行く。

国道237号線を走行してファーム・富田へ行けば、美瑛の景観を見ながら走れるとのこと。

美瑛の広々とした風景、ラベンターの丘を眺めながらファーム・富田へ。

天候が良ければ散策できるが、滞在自由行動30分。多くはメロンハウス周辺に留まり、餞別を頂いた青岸渡寺・高木亮英・玉岡憲明さんへの土産にメロンを購入。

その後、ワイン工場かチーズ工場へ立寄るか意見を聞き、チーズ工場に決まり、此処でも滞在は30分。

桂沢湖経由で三笠ICへ。10乗り車がガソリンが少なく立寄って欲しいとの事、市内に入り反対車線にガソリンスタンドがあるも素通りしてIC近くにあると走行するが無い、携帯で札幌迄約40km走行可能か確認して三笠ICに入る。

前が白くなる位の雨で前が見づらい、この影響？カーナビの行先が江別東ICで下りる案内となり、野幌PAでカーナビ再設定してサッポロビール園へ。

ビール園での飲酒を最も楽しみにしている沖崎・中前・徳子ちゃん達は、誰が運転してくれるかが最大の関心事だ、各車誰が飲まず運転するか相談の上、石橋・竹中・田中さんがして下さる事

になる。

総合案内所で予約を告げ2階のビール園会場へ。2200円のジンギスカン焼肉と自払ビールで北海道滞在最後のイベントの開宴だ。大ジョッキー(1L)2〜3杯飲んだ人もかなりあり、肉が余る位で満腹のご満悦でビール園を14時に退園。



サッポロビール園にて

飲み疲れ?新千歳空港

3台とも千歳市内まで走れるとのことから、レンタカー指定のガソリンスタンドを目的地にカーナビ設定。途中、1台が目的地トヨタレンタカーだったので徳子ちゃん設定。

ガソリンスタンドに2台到着、1台カーナビの再設定で遅れるとのこと。おかしい!3台共設定を確認したのに、5分程遅れて到着、高速道の路側で我慢できずトイレ停車したとのこと納得。

トヨタレンタカーに返車。バスで空港迄送ってくれるまでしばらく待つ。すると早く返車されたので払戻金約4500円は、新日本旅行へ振込みするので受領する様に言われる。

新千歳空港に着き、徳子ちゃんに21名の予約紙から航空券引換に行つて貰う。今回のツアーは、レンタカー業者への再確認と誘導、カーナビ設定など川島と先導車で1人運転して頂き、迅速に行動できたのは徳子ちゃんのお陰だと言つても過言ではない。

札幌在住の息子さん宅等で2〜3日滞在する田中氏は、空港まで同行して下さり、空港内でお土産・軽食する間の荷物の見張番

をして下さる。17時半前迄に手荷物の手続きを済ませ、田中氏に見送られ搭乗口で別れる。又、椎木氏は我々より5分遅れの広島空港便に乗られるため別れる崎。

新千歳空港から関西空港の飛行ルートは、輪島上空を通り岡山周辺から関西空港へ飛行のため、偏西風に逆らい、遠回りするので帰りは約20分多くかかる2時間10分で飛行している。定刻より5分遅れて、雨の関西空港に到着。

機内荷物だけなので最初に出口へ出ると、木下棟梁が29〜30日に持経宿改築に行かれたので、29日に支応援に行つて来られた梶野氏が(白谷林道の鍵返却)出迎えて下さる。空港内で石橋夫妻・三井・河野。佐藤さんと別れる。



関西空港無事到着! (写真提供:梶野氏)

預けた車が出口ターミナルで待機しており、21時10分空港を離れ帰郷する。紀の川SAで沖崎宅に立寄らないように、乗車者を入替えて流れ解散として、新宮には24時10分。一番遠い紀北町長島区は、翌朝2時に無事到着。

北海道ツアーは、天候が良くない中でニセコアンヌプリ・羊蹄山・旭岳に殆んど参加者が登頂出来たのは、仲間と本人の頑張りによるものであり、登頂と無事下山を讃えたい。

最後に、企画プランを支援して下さいました新日本旅行、餞別金を

頂いて高木亮英・玉岡憲明様、同行した加藤氏から寄付金を頂き御礼と感謝を申し上げます。

行動タイム

「花神楽」8:05↓美瑛町・国道237号↓9:00中富良野・ファーム富田9:30↓9:45チーズ工場10:15↓桂沢湖↓11:25三笠IC↓野幌PA↓12:00札幌IC↓12:15サッポロビール園(走行距離581km)14:00↓北郷IC14:20↓千歳IC14:50↓15:05トヨタレンタカー↓15:40新千歳空港18:25→JAL2518便→20:35関西空港21:10↓紀ノ川SA↓24:10新宮。

(北海道内走行距離746km)

(記 川島)

十二支会・特別例会「羊蹄山」協賛ツアー会計報告(H27. 6. 28～6. 30)

収 入		収 出	
内 訳	金 額	内 訳	金 額
会費		新日本旅行(内訳下記)	2,006,736
新宮・尾鷲(16名)@101,000	1,616,000	ホテル・飲酒等追加料金	
大阪・和歌山(5名)@100,000	500,000	レイクサイドテラス	28,900
椎木・田中(2名)；@80,000	160,000	ニセコアルペン(弁当35名)@758	26,530
加藤氏	40,000	クラブ錦渓(宿泊・飲酒・弁当)	132,350
十二支会(11名)；14,000	154,000	花神楽	22,550
寄付金(高木亮英)	20,000	閑空駐車料金@8,500×4台	34,000
寄付金(玉岡憲明)	10,000	五色温泉駐車料金@100	2,400
寄付金(加藤英彦)	10,000	閑空往復の交通費@15,000×3台	45,000
		高速道料金@6,600/台×3台	19,800
	—	ガソリン代(札幌；3台分)	14,270
		ガソリン代(千歳；3台分)	19,647
		旭岳ロープウェイ@2,600	59,800
		ゴミ袋・缶コーヒー等(奥村立替)	4,000
		お土産代(メロン；高木・玉岡)	5,410
		お土産(棟梁；ラム肉)	2,400
		会費払戻し	
		石橋夫妻	3,600
		椎木	15,300
		田中	15,000
		三井・河野・佐藤；@3,500	10,500
		十二支会会計へ(@92×35名)	3,220
	2,510,000		2,471,413
余剰金			38,587

余剰金及び後日、レンタカー代払戻し4,473円は、新宮山彦ぐるーぷ一般会計へ。

新日本旅行支払内訳

航空運賃(往)	327,100
航空運賃(複)	334,600
ホテル宿泊代(税込み)	
レイクサイドテラス@12,030×24名	288,720
ニセコアルペン@13,150×35名	460,250
花神楽 @12,030×23名	276,690
レンタカー代(10人乗り)	85,639
レンタカー代(8人乗り)@80,651×2台	161,302
保険料@645×23名	14,835
振込料等	7,000
ビール園@2,200×23名	50,600
	2,006,736

